

ICT活用で確かな学力をつけよう（実践報告）

- 1 学年・教科 6年・理科
- 2 単元名 ヒトや動物の体
- 3 実践者（所属） 清水 弘彦（下小田中小学校）
- 4 活動を始める前に

(1) 準備するもの

- 理科ねっとわあくパッケージコンテンツCD（人体）
- 授業支援ソフト「skymenu」

(2) ICT機器やメディアの活用のねらい

- より本物に近い立体映像を仮想体験することで、教科書などの紙媒体では得られない知識を習得する。
- 「skymenu」のメール機能を活用することにより、学習者の理解度を個別に判断することができる。

5 指導計画

時	児童の活動	指導上の留意点
1	ヒトや動物が生きていくために必要なものを考える。	・CDを視聴した後に問題文のファイルを送信できるようにするため、それぞれの分野での理解度を確認するための問題を作成しておく。
2	第1次 呼吸 (1) 吸う息と吐く息の違い (2) 呼吸の仕組み	
2	第2次 消化と吸収 (1) 体内での食物の変化 (2) 消化と吸収の仕組み	
2	第3次 血液 (1) 血液の循環の仕方	
3	まとめ	

6 活動の流れ

時間	学習内容・指導上の留意点	児童の活動（利用メディア）
	<ul style="list-style-type: none">・呼吸によって体内に入った空気がどのような経路で取り入れられていくのかについてCDを視聴する。・「メール機能」を利用して、問題文ファイルを各自のコンピュータに送信する。・回答を記入したファイルを集めて、公開し、正解を確認する。	<ul style="list-style-type: none">・送信された映像を視聴し、必要に応じてメモをとる。（各自のコンピュータ）・問題文ファイルがデスクトップに貼り付けられているのを確認し、開いた上で答えを打ち込む。その後返信する。・正解を確認する。

7 取り組み後の子ども達の変容や成果

- ・普段無意識で呼吸をしたり、食事をとったりしているが、体内でどのように取り入れられていくかを具体的な映像で確認することで、自分の生活を改めて振り返るきっかけになった。
- ・メールの送受信の仕方を理解することで、自分の意志を示すことにつながり、また友達の回答の様子も知ること、文章で相手に正確に伝える方法も学ぶことができた。

8 応用できます！

「skymenu」の「メール機能」は教科に限らず、学習場面のすべてに応用できます。